

会社情報

会社概要

2023年12月31日現在

商号	ホシザキ株式会社 (HOSHIZAKI CORPORATION)
所在	本社 〒470-1194 愛知県豊明市栄町南館3番の16 (代表電話) 0562-97-2111
設立	1947年2月5日
上場市場	東京証券取引所プライム市場 並びに名古屋証券取引所プレミア市場
資本金	80億98百万円
事業内容	フードサービス機器の研究開発、製造、販売及び 保守サービス
決算	12月31日
従業員数	(連結) 13,361名 (単体) 1,156名
連結子会社	国内19社 海外37社(合計56社)
持分法適用会社	海外1社

- (注) 1. 2024年2月21日(米国時間)付で当社の連結子会社であるHOSHIZAKI USA HOLDINGS, INC.が、Fogel Company Inc.(パナマ)の株式の一部を取得し、持分法適用関連会社化しました。
2. 2024年3月4日(トルコ現地時間)付で持分法適用関連会社であるÖztiryakiler Madeni Eşya Sanayi ve Ticaret Anonim Şirketi(トルコ)の株式を51%まで追加取得し、連結子会社化しました。

役員

2024年3月27日現在

取締役会長	坂本 精志	常務執行役員	栗本 克裕
代表取締役社長	小林 靖浩	常務執行役員	落合 伸一
取締役	友添 雅直*	執行役員	後藤 修
取締役	後藤 昌彦*	執行役員	寺嶋 清二
取締役 専務執行役員	家田 康嗣	執行役員	松永 陽介
取締役 専務執行役員	西口 史郎	執行役員	関 隆一郎
取締役 常務執行役員	丸山 暁	執行役員	甲斐 照幸
取締役 常務執行役員	矢口 教	執行役員	佐々木 彰
取締役 常勤監査等委員	水谷 正	執行役員	佐々木 誠
取締役 監査等委員	柘植 里恵*	執行役員	丹鳥 俊一
取締役 監査等委員	堀西 良美*		※は社外取締役

株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日まで
 定時株主総会 毎年3月
 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
 株主名簿管理人 名古屋市中区栄三丁目15番33号
 事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (郵送物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (電話照会先) 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
 受付時間 9:00~17:00(土・日・休日を除く)
 インターネット <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>
 ホームページURL

■株主総会資料の電子提供制度

電子提供制度とは、株式会社が株主総会資料をインターネット上(ウェブページなど)で提供することをいいます。

ポイント

・ウェブサイトへのアクセス方法を記載した招集通知(通知書面)をお送りします。

・株主総会資料の全文はウェブサイトへアクセスすることで確認できます。
 ※議決権を有する株主様が対象です。なお、議決権行使書は原則、今まで通りお送りします。

電子提供制度について詳しくはこちらをご参照ください

<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/kaisyahou>



■これまでと同内容の資料送付をご希望の場合(書面交付請求のお手続き)

株主総会基準日までに証券会社や株主名簿管理人(三井住友信託銀行)にお申し出のうえお手続きを完了していただくことで、これまでと同内容の株主総会資料を書面でお送りいたします。

・証券会社にお申し出の場合:お取引のある証券会社へお問い合わせください。

・株主名簿管理人にお申し出の場合:申出書面のご提出が必要となります。詳しい内容等は、下記の専用コールセンターにてお問い合わせください。

専用コールセンター: 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 0120-533-600(フリーダイヤル)
 受付時間: 9:00~17:00(土・日・休日を除く)



株主・投資家の皆さまへ

ホシザキグループ 報告書

第78期 (2023年1月1日~12月31日)



ホシザキ株式会社

〒470-1194 愛知県豊明市栄町南館3番の16 総務部総務課
 TEL:0562-96-1111 FAX:0562-97-7427



▶ 代表取締役からのメッセージ

不透明さを増す世界及び日本経済環境の下、成長加速に向けた基盤を再強化



代表取締役社長
小林 靖浩

存在意義

私たちホシザキグループは、多様化する「食」に対するニーズの変化に対応し、お客様のみならず社会に貢献できる「進化する企業」であることを目指します。これを満たすため、独自の技術に基づくオリジナル製品を創造し、より快適でより効率的な食環境へ向けての新たな提案と迅速かつ高品質なサービスを提供します。

経営姿勢

- 遵法はもとより社会と社員から信頼される会社づくり
- 透明性のある経営 議論のできる経営の実践
- 事業活動と環境との調和 働きやすい職場環境の実現

「 良い製品は良い環境から 」

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

▶ 当期(2023年12月期)の業績の総括

当連結会計年度における日本経済は、5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置づけられるとともに、円安、インバウンド需要等、飲食・サービス業界への追い風があった一方、物価上昇、人手不足といったマイナス要因の影響も受け、緩やかな回復を継続しました。海外では、消費や雇用には底堅い動きがみられたものの、物価上昇の継続や、金融引き締め長期化による景気減速、中国の経済成長の鈍化による世界経済への影響リスク等、先行き不透明な状況が継続しました。

このような環境下、当社グループは、国内では前年に発生した部材調達難による供給制約は解消した中、飲食市場への拡販及び流通販売業や加工販売業等の飲食外市場への拡販と新規顧客の開拓に注力いたしました。また、ノンフロン自然冷媒の国内製品への採用加速や、機器にWi-Fiモジュールを取り付け、稼働・温度データをクラウドサーバで管理する新サービスの提供開始を発表するなど、新たな顧客価値の創造に向けた取り組みを推進いたしました。

海外では、堅調な需要の継続に対して製品供給に注力すると共に、物価上昇に対応する製品価格の改定は随時実施する等、収益性の向上にも努めました。また、前年に買収した企業による業績貢献がありました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高は3,735億63百万円(前期比16.3%増)、営業利益は435億20百万円(同59.0%増)となりました。経常利益は受取利息及び為替差益を計上したこと等により503億22百万円(同35.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は328億35百万円(同36.9%増)となりました。

▶ 2024年12月期の取り組み

足元の世界経済は底堅さをみせる中、複数の地域にて地政学上のリスクが高まりつつあり、さらに各国の物価推移及び金融政策(金利推移)が見通せない等、今後の世界経済は不透明さを増しています。

国内においては、お客様における人手不足や原材料等のコスト高騰は継続するものの、インバウンドの回復、景気の底堅さ等を考慮すると、安定的な設備投資需要の継続に加えて、前年は伸び悩んだ飲食店の出店ペースが段階的に向上することが想定されます。こうした状況下、国内15販売会社は引き続き、飲食市場の深掘りと、飲食外市場の積極的な新規開拓に取り組んでいきます。前年同期に導入した新組織(15販売会社の下に51支店、約430営業所を配置し、支店長を中心に各地域の飲食店及び飲食店以外のお客様を連携して攻略)は期待通りの成果を出しつつあり、今期も組織間連携を積極的に強化します。同じく前年同期に設立したホシザキ販売株式会社が、15販売会社に効率的に横串を通すことで、各社新組織長の全社的育成、個社の成功事例の水平展開、個社では取り組めない課題解決活動に積極的に取り組むことができました。今期も重要課題の解決、各社業績の改善に向けて、優先度をつけて取り組みます。

また、自然冷媒を採用した製品(冷蔵庫:2023年5月発売開始、製氷機:2024年1月発売開始)は、低環境負荷を重視するお

客様に順調に受け入れられつつあります。冷蔵庫においては、期中にほぼ全ての機種 of 自然冷媒化を完了できる予定です。

海外においては、前期は2022年7月にグループに加わったイタリアのBrema社が着実に業績貢献したことに加えて、全てのエリアにおいて大幅な増収増益を達成できました。特に、米州及び欧州における製氷機事業、アジア(主にインド)における冷蔵庫事業の成長が大きく業績に貢献しました。今期は、前期のアフターコロナにおけるペントアップ需要が落ち着くことに加え、世界経済の不透明さを考慮した目標設定となっておりますが、エリア毎の成長戦略の着実な遂行によって、更なる利益成長を目指します。特に、米州及び欧州での冷蔵庫事業強化、グローバルレベルでの商品企画・開発・製造・販売各機能の連携強化(各市場ニーズに沿った新製品開発と安定供給の実現)に重点的に取り組みます。また、当社グループ企業価値向上に貢献する新規M&Aの実現には引き続き全力で取り組みます。

2024年12月期連結業績予想として売上高4,100億円(前期比9.8%増)、営業利益440億円(同1.1%増)の達成を目指します。2024年3月に連結子会社化したグループ会社(トルコのOzti社)の業績貢献に加えて、既存グループ会社の成長を目指して積極的に取り組みます。

また、2023年の期末配当は、当社の株主還元方針(総還元性向40%以上)に沿って、期首予想の40円から65円に増配いたしました(年間配当を70円から95円へ増配)。

今期からの3年間は、現在取り組む5か年経営ビジョン(2022-2026)の総仕上げの期間であり、今期は来期以降の継続的な構造改革に向けてしっかりと準備を進めます。

株主の皆さまには、今後とも企業価値向上に向けた当社グループの挑戦にご期待いただき、引き続き当社グループの経営にご理解とご支援をお願い申し上げます。

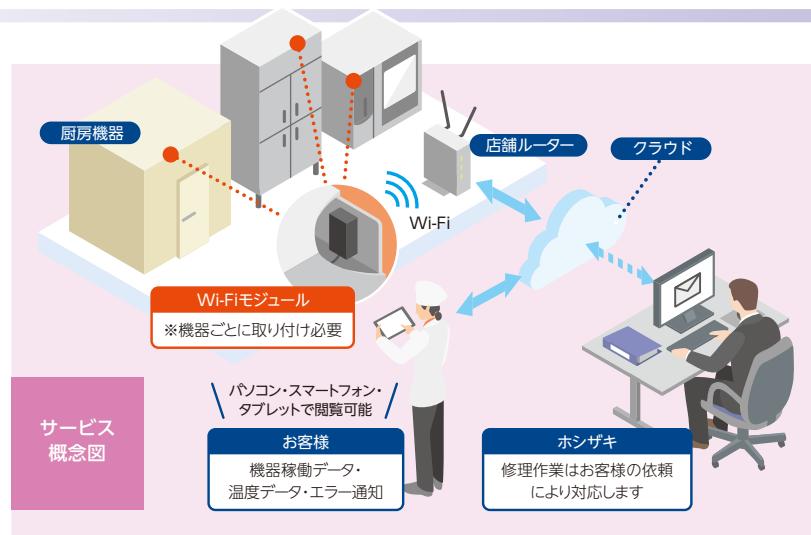
五大大陸をつなぐ世界No.1ブランドを目指して、国内外で積極的な取り組みを推し進めています。

国内での取り組み

新サービス「ホシザキコネクトWi-Fi」の提供開始

業務用冷蔵庫などの機器にWi-Fiモジュールを取り付け、稼働・温度データをクラウドサーバで管理する新サービス(SaaS*)「ホシザキコネクトWi-Fi」を、2024年1月より販売会社を通じて国内で提供を開始しました。初期費用ゼロで機器のIoT化を実現し、お客様の効率的な運営を支援します。

* Software as a Serviceの略で、サービス事業者が提供するソフトウェアを、インストール無しで、インターネット経由で利用できるサービスのこと。



小形ラピッドチラー、アンダーカウンター食器洗浄機「2023年度グッドデザイン賞」受賞

2023年度グッドデザイン賞において、小形ラピッドチラー（急速冷却機）、アンダーカウンター食器洗浄機が、それぞれ「グッドデザイン・ベスト100」「グッドデザイン賞」を受賞しました。ホシザキの「グッドデザイン賞」受賞は、計12回（年度）・18製品、2020年度より4年連続、「グッドデザイン・ベスト100」は初受賞となります。



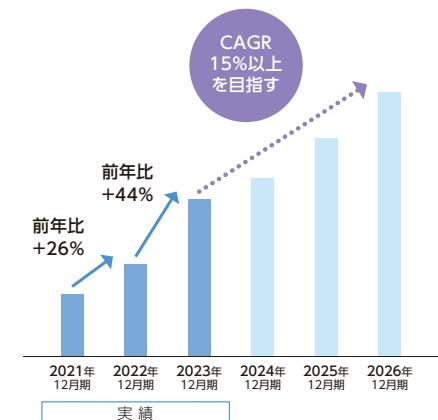
海外での取り組み

成長著しい東南アジア事業

ホシザキは東南アジア市場を成長市場と位置付け、1999年のシンガポール現地法人設立に始まり、現在独立した6販売会社（シンガポール、インドネシア、タイ、マレーシア、ベトナム、フィリピン）を設立し、各国の事業を拡大しています。2023年7月には6社を統括する持株会社を設立し、一層の事業拡大を図ってまいります。



東南アジア事業の売上推移イメージ



ホシザキアメリカ ENERGY STAR®アワード

ホシザキアメリカが、米国環境保護庁(EPA)が主催するENERGY STAR®アワード2023にて、「2023 ENERGY STAR Partner of the Year - Sustained Excellence Award」を受賞。ENERGY STAR®アワードとしては12年連続の受賞となりました。



▶ 連結財務ハイライト

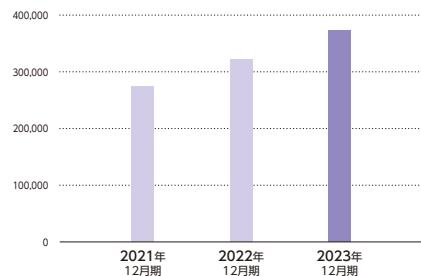
(注) 2022年7月1日に取得したBrema Group S.p.A.並びに2022年12月22日に取得した北京東邦御厨科技有限公司との企業結合について前期末において暫定的な会計処理を行っていましたが、当期末に確定したため、前期末との比較・分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いております。

連結財務ハイライト

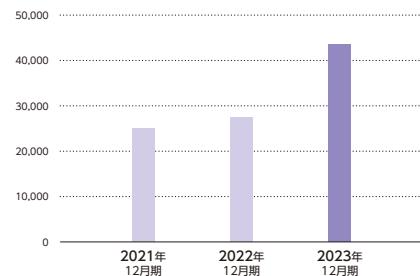
(単位：百万円)

	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期
売上高	274,419	321,338	373,563
営業利益	24,931	27,378	43,520
経常利益	31,165	37,226	50,322
親会社株主に帰属する当期純利益	21,679	23,977	32,835
純資産	259,862	292,500	332,937
総資産	378,469	423,898	465,361

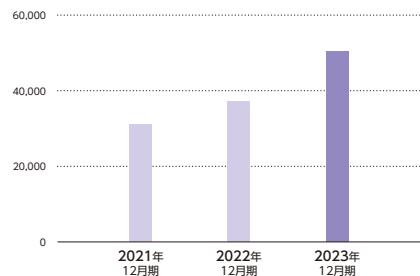
▶ 売上高 (単位：百万円)



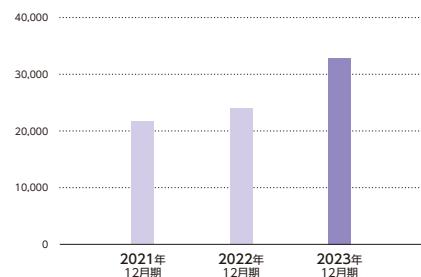
▶ 営業利益 (単位：百万円)



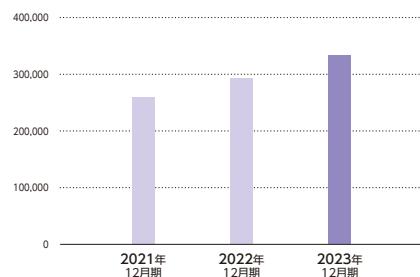
▶ 経常利益 (単位：百万円)



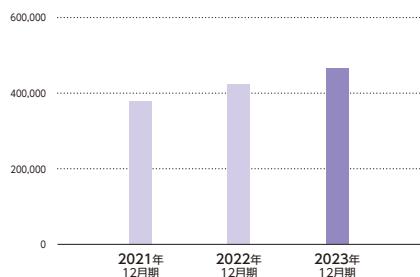
▶ 親会社株主に帰属する当期純利益 (単位：百万円)



▶ 純資産 (単位：百万円)



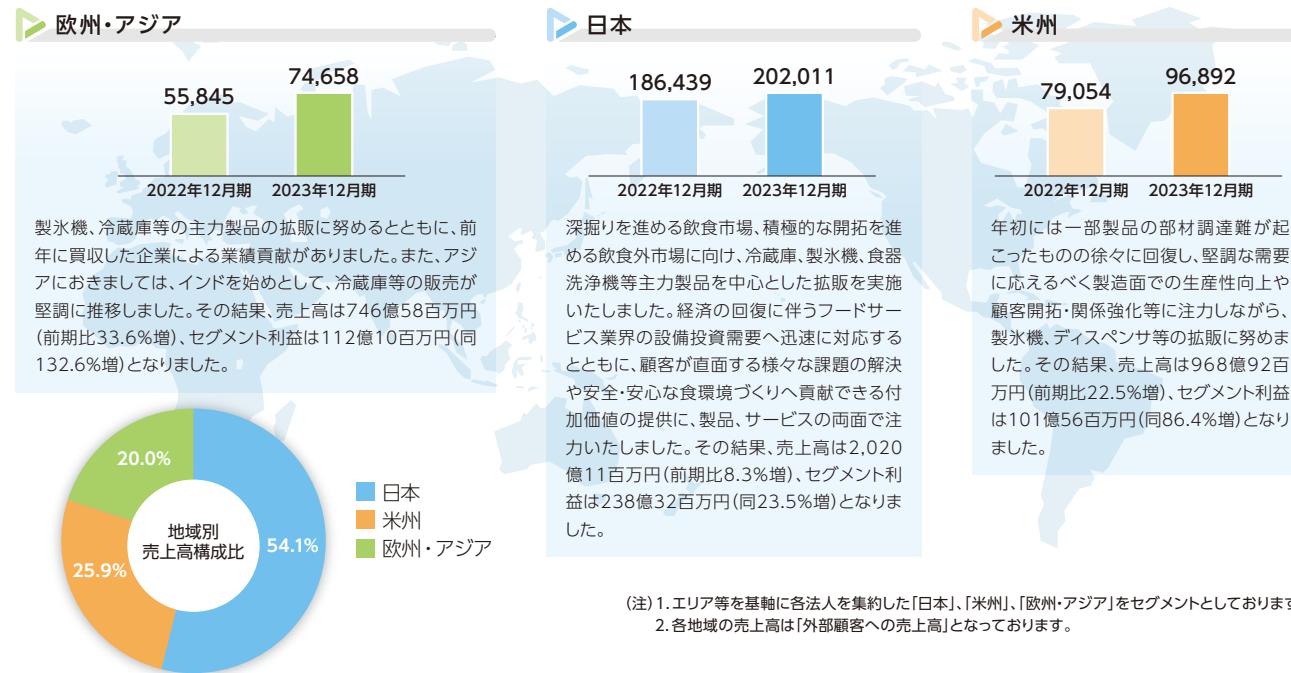
▶ 総資産 (単位：百万円)



▶ 連結セグメント情報

地域別売上高

(単位：百万円)



製氷機、冷蔵庫等の主力製品の拡販に努めるとともに、前年に買収した企業による業績貢献がありました。また、アジアにおきましては、インドを始めとして、冷蔵庫等の販売が堅調に推移しました。その結果、売上高は746億58百万円(前期比33.6%増)、セグメント利益は112億10百万円(同132.6%増)となりました。

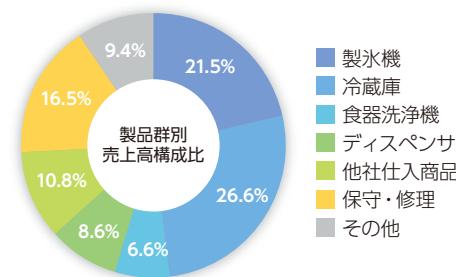
深掘りを進める飲食市場、積極的な開拓を進める飲食外市場向け、冷蔵庫、製氷機、食器洗浄機等主力製品を中心とした拡販を実施いたしました。経済の回復に伴うフードサービス業界の設備投資需要へ迅速に対応するとともに、顧客が直面する様々な課題の解決や安全・安心な食環境づくりへ貢献できる付加価値の提供に、製品、サービスの両面で注力いたしました。その結果、売上高は2,020億11百万円(前期比8.3%増)、セグメント利益は238億32百万円(同23.5%増)となりました。

年初には一部製品の部材調達難が起こったものの徐々に回復し、堅調な需要に応えるべく製造面での生産性向上や顧客開拓・関係強化等に注力しながら、製氷機、ディスペンサ等の拡販に努めました。その結果、売上高は968億92百万円(前期比22.5%増)、セグメント利益は101億56百万円(同86.4%増)となりました。

(注) 1. エリア等を基軸に各法人を集約した「日本」、「米州」、「欧州・アジア」をセグメントとしております。
2. 各地域の売上高は「外部顧客への売上高」となっております。

製品別売上高

(単位：百万円)



	2022年12月期	2023年12月期
製氷機	59,689	80,455
冷蔵庫	92,153	99,514
食器洗浄機	20,980	24,836
ディスペンサ	23,798	32,045
他社仕入商品	37,892	40,337
保守・修理	56,631	61,620
その他	30,192	34,754
合計	321,338	373,563

連結財務諸表

(注) 2022年7月1日に取得したBrema Group S.p.A.並びに2022年12月22日に取得した北京東邦御厨科技有限公司との企業結合について前期末において暫定的な会計処理を行っていましたが、当期末に確定したため、前期末との比較・分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いております。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当期末 2023年12月31日現在	前期末 2022年12月31日現在	増減額
資産の部			
1 ... 流動資産	364,145	328,240	35,904
現金及び預金	254,530	226,065	28,464
受取手形、売掛金及び契約資産	52,026	45,783	6,243
商品及び製品	19,962	17,806	2,155
仕掛品	7,324	6,797	526
原材料及び貯蔵品	24,977	27,222	△2,244
その他	5,873	5,055	818
貸倒引当金	△549	△489	△60
2 ... 固定資産	101,215	95,658	5,557
有形固定資産	53,034	49,510	3,524
建物及び構築物(純額)	19,343	18,057	1,285
機械装置及び運搬具(純額)	8,500	7,904	596
工具、器具及び備品(純額)	2,539	2,036	503
土地	15,621	15,279	341
リース資産(純額)	1,886	1,386	500
建設仮勘定	5,142	4,845	297
無形固定資産	18,357	17,957	400
投資その他の資産	29,823	28,190	1,633
投資有価証券	17,067	15,279	1,787
繰延税金資産	10,723	10,919	△195
その他	2,245	2,206	38
貸倒引当金	△211	△214	2
3 ... 資産合計	465,361	423,898	41,462

1 流動資産

増益に伴う現金及び預金の増加により、流動資産は前期末比359億4百万円増加し、3,641億45百万円となりました。

2 固定資産

有形固定資産の増加により、固定資産は前期末比55億57百万円増加し、1,012億15百万円となりました。

3 資産合計

流動資産、固定資産が共に増加したことから、総資産は前期末比414億62百万円増加し、4,653億61百万円となりました。

	当期末 2023年12月31日現在	前期末 2022年12月31日現在	増減額
負債の部			
流動負債	104,638	102,987	1,651
支払手形及び買掛金	30,308	32,714	△2,406
未払法人税等	5,952	4,066	1,885
契約負債	35,959	36,376	△416
製品保証引当金	3,273	2,434	838
その他の引当金	3,855	3,486	368
その他	25,289	23,908	1,381
固定負債	27,785	28,411	△625
役員退職慰労引当金	215	226	△10
退職給付に係る負債	21,451	21,560	△109
製品保証引当金	1,564	1,881	△317
その他	4,554	4,742	△188
負債合計	132,424	131,398	1,025
純資産の部			
株主資本	297,476	274,795	22,680
資本金	8,098	8,070	27
資本剰余金	14,620	14,593	27
利益剰余金	274,766	252,140	22,625
自己株式	△8	△8	△0
その他の包括利益累計額	31,021	14,153	16,867
その他有価証券評価差額金	216	65	151
為替換算調整勘定	32,038	15,914	16,124
退職給付に係る調整累計額	△1,233	△1,826	592
非支配株主持分	4,439	3,550	889
純資産合計	332,937	292,500	40,436
負債純資産合計	465,361	423,898	41,462

4 流動負債

未払法人税等の増加により、流動負債は前期末比16億51百万円増加し、1,046億38百万円となりました。

5 固定負債

固定負債は前期末比6億25百万円減少し、277億85百万円となりました。

6 負債合計

固定負債が減少した一方で流動負債が増加したことから、負債合計は前期末比10億25百万円増加し、1,324億24百万円となりました。

7 純資産

利益剰余金、為替換算調整勘定の増加により、純資産は前期末比404億36百万円増加し、3,329億37百万円となりました。

▶ 連結財務諸表

連結損益計算書 (単位：百万円)

	当期 2023年1月1日～ 2023年12月31日	前期 2022年1月1日～ 2022年12月31日	増減額	
売上高	373,563	321,338	52,225	8
売上原価	237,501	209,642	27,858	
売上総利益	136,062	111,695	24,366	
販売費及び一般管理費	92,541	84,317	8,223	
営業利益	43,520	27,378	16,142	9
営業外収益	8,494	11,051	△2,557	
受取利息	4,826	1,469	3,356	
為替差益	3,027	9,032	△6,005	
その他	640	549	91	
営業外費用	1,692	1,203	488	
支払利息	80	42	37	
持分法による投資損失	1,316	871	444	
その他	295	289	6	
経常利益	50,322	37,226	13,095	9
特別利益	96	81	14	
投資有価証券売却益	59	54	4	
固定資産売却益	37	26	10	
その他	—	0	△0	
特別損失	2,040	3,212	△1,172	
事業構造改革費用	—	3,122	△3,122	
減損損失	1,999	6	1,992	
その他	41	84	△43	
税金等調整前当期純利益	48,378	34,095	14,283	
法人税、住民税及び事業税	15,720	11,161	4,558	
法人税等調整額	△889	△1,590	700	
法人税等合計	14,830	9,571	5,259	
当期純利益	33,547	24,523	9,023	
非支配株主に帰属する当期純利益	712	546	165	
親会社株主に帰属する当期純利益	32,835	23,977	8,858	10

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

	当期 2023年1月1日～ 2023年12月31日	前期 2022年1月1日～ 2022年12月31日	増減額	
営業活動によるキャッシュ・フロー	37,698	5,170	32,527	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,286	1,941	1,344	12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,355	△13,349	2,993	
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,673	11,290	△2,617	
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	39,301	5,053	34,248	
現金及び現金同等物の期首残高	186,669	181,615	5,053	
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,101	—	1,101	
現金及び現金同等物の期末残高	227,072	186,669	40,403	13

8 売上高

国内ではノンフロン自然冷媒の国内製品への採用を加速するなど、新たな顧客価値の創造に向けた取り組みを推進いたしました。海外では、堅調な需要の継続に対して製品供給に注力すると共に、物価上昇に対応する製品価格の改定は随時実施する等、収益性の向上にも努めました。また、前年に買収した企業による業績貢献がありました。以上の結果、売上高は前期比16.3%増の3,735億63百万円となりました。

9 営業利益／経常利益

営業利益は前期比59.0%増の435億20百万円となり、受取利息及び為替差益を計上したこと等により経常利益は前期比35.2%増の503億22百万円となりました。

10 親会社株主に帰属する当期純利益

親会社株主に帰属する当期純利益は前期比36.9%増の328億35百万円となりました。

11 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、376億98百万円の収入(前期は51億70百万円の収入)となりました。主な要因は、税金等調整前当期純利益が483億78百万円ありましたが、法人税等の支払額142億29百万円あったことによるものです。

12 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、32億86百万円の収入(前期は19億41百万円の収入)となりました。主な要因は、有形固定資産取得による支出61億32百万円ありましたが、一方で定期預金の純減による収入が142億13百万円あったことによるものです。

13 現金及び現金同等物の期末残高

現金及び現金同等物の期末残高は、前期末比404億3百万円増加の、2,270億72百万円となりました。

▶ 株式関連情報 (2023年12月31日現在)

▶ 株式の状況

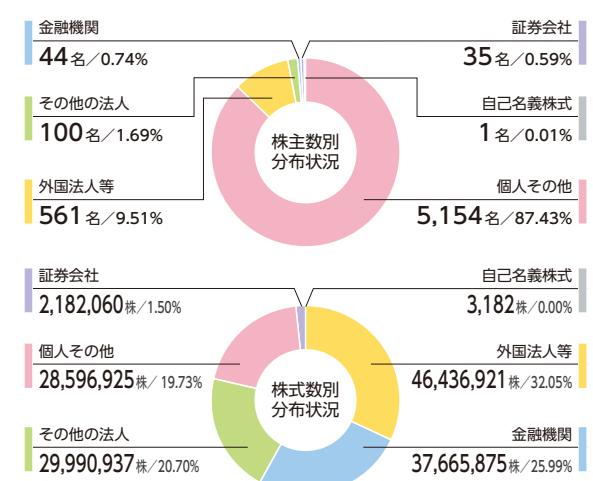
発行可能株式総数	500,000,000 株
発行済株式の総数	144,875,900 株
株主数	5,895 名

▶ 大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	18,529	12.79
坂本ドネイション・ファウンデーション株式会社	12,406	8.56
公益財団法人ホシザキグリーン財団	11,900	8.21
ジェビー・モルガン・チェス・バンク 380055(常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	8,273	5.71
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	6,753	4.66
ホシザキグループ社員持株会	4,768	3.29
GOVERNMENT OF NORWAY(常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店)	3,603	2.48
一般財団法人ホシザキ新星財団	3,398	2.34
坂本 美由紀	2,271	1.56
ステート・ストリート・バンク・オブ・クワイア・アトリー・505234(常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	1,879	1.29

(注) 持株比率は自己株式(3,182株)を控除して計算しております。

▶ 株式分布状況



▶ 国内外ネットワーク (2023年12月31日現在)

ホシザキ株式会社	
● 本社 / 愛知県 豊明市	● 島根本社工場 / 島根県 雲南市
国内グループ会社	
● ホシザキ販売株式会社 / 東京都 品川区	● ホシザキ阪神株式会社 / 大阪府 大阪市
● ホシザキ北海道株式会社 / 北海道 札幌市	● ホシザキ中国株式会社 / 広島県 広島市
● ホシザキ東北株式会社 / 宮城県 仙台市	● ホシザキ四国株式会社 / 香川県 高松市
● ホシザキ北関東株式会社 / 埼玉県 さいたま市	● ホシザキ北九株式会社 / 福岡県 福岡市
● ホシザキ関東株式会社 / 東京都 文京区	● ホシザキ南九株式会社 / 鹿児島県 鹿児島市
● ホシザキ東京株式会社 / 東京都 品川区	● ホシザキ沖縄株式会社 / 沖縄県 那覇市
● ホシザキ湘南株式会社 / 神奈川県 横浜市	● 株式会社ネスター / 愛知県 大府市
● ホシザキ北信越株式会社 / 石川県 金沢市	● ホシザキ東海株式会社 / 愛知県 名古屋
● ホシザキ東海株式会社 / 愛知県 名古屋	● 株式会社ナオミ / 大阪府 箕面市
● ホシザキ京阪株式会社 / 大阪府 大阪市	

(注) 株式会社ネスターは、2024年1月1日をもって島根県雲南市に移転しました。

海外グループ会社	
● HOSHIZAKI USA HOLDINGS, INC. / 米国	
● HOSHIZAKI AMERICA, INC. / 米国	
● HOSHIZAKI SOUTH CENTRAL DISTRIBUTION CENTER, INC. / 米国	
● HOSHIZAKI WESTERN DISTRIBUTION CENTER, INC. / 米国	
● HOSHIZAKI NORTHEASTERN DISTRIBUTION CENTER, INC. / 米国	
● HOSHIZAKI NORTH CENTRAL DISTRIBUTION CENTER, INC. / 米国	
● HOSHIZAKI SOUTHEASTERN DISTRIBUTION CENTER, INC. / 米国	
● HOSHIZAKI DE MEXICO, S. DE R.L. DE C.V. / メキシコ	
● Jackson WWS, Inc. / 米国	
● LANCER CORPORATION / 米国	
● LANCER DE MEXICO, SOCIEDAD ANONIMA DE CAPITAL VARIABLE / メキシコ	
● INDUSTRIAS LANCERMEX, SOCIEDAD ANONIMA DE CAPITAL VARIABLE / メキシコ	
● SERVICIOS LANCERMEX S.A. DE C.V. / メキシコ	
● HOSHIZAKI LANCER PTY LTD. / 豪州	
● HOSHIZAKI LANCER LIMITED / ニュージーランド	
● Lancer Europe / ベルギー	
● 嵐瑟(上海) 飲料機械設備有限責任公司 / 中国	
● Aços Macom Indústria e Comércio Ltda. / ブラジル	

● Hoshizaki Europe Holdings B.V. / オランダ	
● HOSHIZAKI EUROPE LIMITED / 英国	
● Hoshizaki Europe B.V. / オランダ	
● Brema Group S.p.A. / イタリア	
● Öztiryakiler Madeni Eşya Sanayi ve Ticaret Anonim Şirketi / トルコ*	
● Western Refrigeration Private Limited / インド	
● HOSHIZAKI SOUTHEAST ASIA HOLDINGS PTE. LTD. / シンガポール	
● HOSHIZAKI (THAILAND) LIMITED / タイ	
● HOSHIZAKI MALAYSIA SDN. BHD. / マレーシア	
● HOSHIZAKI SINGAPORE PTE LTD / シンガポール	
● HOSHIZAKI VIETNAM CORPORATION / ベトナム	
● PT. HOSHIZAKI INDONESIA / インドネシア	
● HOSHIZAKI PHILIPPINES CORPORATION / フィリピン	
● 星崎香港有限公司 / 香港	
● 星崎(中国) 投資有限公司 / 中国	
● 星崎冷熱機械(上海) 有限公司 / 中国	
● 星崎電機(蘇州) 有限公司 / 中国	
● 北京東邦御厨科技有限公司 / 中国	
● 台湾星崎股份有限公司 / 台湾	
● Hoshizaki Korea Co., Ltd. / 韓国	

(注) 1. 2024年2月21日(米国時間)付で当社の連結子会社であるHOSHIZAKI USA HOLDINGS, INC.が、Fogel Company Inc.(パナマ)の株式の一部を取得し、持分法適用関連会社化しました。
2. ※は持分法適用関連会社。なお、2024年3月4日(トルコ現地時間)付で持分法適用関連会社であるÖztiryakiler Madeni Eşya Sanayi ve Ticaret Anonim Şirketi(トルコ)の株式を51%まで追加取得し、連結子会社化しました。